



いしばし新聞

平成25年 4月 第25号

今月の予定

《4月15日～5月14日まで》

- 4月 16日(火)……青木照夫様 お誕生日
 24日(水)……おしさ広場
 30日(火)……篠原ヨシ様 お誕生日
- 5月 4日(土)……篠崎ミツイ様 お誕生日
 9日(木)……おしさ広場
 12日(日)……母の日会

園芸活動

『じゃがいも植え付け』

3月25日施設ホールにてじゃがいもの袋への植え付けを行いました。

ご利用者は「去年もやったから簡単ね」と手慣れた様子で手際よく作業されていました。なかには「生まれて初めて」という方もおり、新鮮な体験をしていただけたようでした。



職員紹介

～新年度挨拶～



満開の桜と共に、平成25年、新しい年度が始まりました。新年度が皆様にとって、健やかな良い年になりますよう心より願っております。

さて、当施設は、高齢者の専門性を重視し、地域の方々に信頼される施設でありたいという理念を掲げています。この精神はゆるぎないものですが、社会の変化に伴い施設機能に対する要望は変わってきています。

今後、日本はどこの国も経験したことのない未踏高齢社会に突入します。2025年には、3人に1人が65歳以上の高齢者という時代がやってきます。高齢社会は単に高齢者が増えるだけでなく、今後の団塊世代では、子による介護に頼らない人の層が多いと予想され、サービスへの要求も現在よりはるかに高くなります。介護サービスは、量だけでなく、質の向上が求められています。こうした課題を見据え、今年度の当施設、各事業所共に具体策に取り組み始めております。まずその柱の1つとして、介護サービスの質の向上であります。広がるニーズに応えるには事業者の情報開示、ケアマネジメントの適正化、個別ケアの充実などが求められます。特に、利用者と向き合い、ケアプランを作成し実践する職員の資質、専門性の向上が急務と考えております。

もう1つの柱としては、地域密着型施設の整備です。施設整備は、まだまだ不足している状況にあり十分ではありません。今年度いしばしでは、地域ニーズに出来る限り応えるべく、地域密着型特別養護老人ホームを下野市上古山に秋のオープンを目指し、建設中でございます。

いずれにいたしましても、これからの激動の高齢社会を「いしばし」がこの地域で更に貢献できるよう、一つ一つ役割を果たすべく、戦略的な姿勢で取り組んでまいります。

特別養護老人ホームいしばし
施設長 水戸部 和也

行事の様子

4月5日『天平花祭り』

4月5日は国分寺尼寺へお花見に行きました。桜はまだつぼみが多かったのですが、少しずつ暖かくなるなか、この日も天気にも恵まれご利用者の方々は、とても気持ちのよさそうな表情をされておりました。

尼寺には多くの売店が出ており、焼きそばやお好み焼きを購入され美味しく召し上がるご利用者もおられ、とても楽しんで頂けました。



4月2日、3日

『デイサービスお花見会』

施設南側庭に咲いている枝垂桜にて、デイサービスお花見会を実施しました。提灯や紅白幕で花見会場を作り、雰囲気を楽しんで頂きました。昼食時には、色とりどりのオードブルや五目御飯などの豪華な食事やノンアルコールビールなどで大変盛り上がりました。



編集後記

平成25年度がスタートしました。今年は暖かい日が多く昨年とは打って変わって桜の開花も早く過ごしやすいい日が続きました。季節の変わり目ですので、職員一同ご利用者皆様の体調管理に努めてまいります。ご家族の皆様も、体調の変化に気を付けてお過ごしください。

今年度も、施設の行事や様子をお伝えしてまいりますので、年間よろしくお願いたします。

